

＜エリアの特徴＞

- 「ひらかたパーク」は現存する遊園地では日本最古であり、約15万平方メートルの広さを持ち、幅広い世代が訪れる花と緑あふれる遊園地。

A. 特定サイト「遊園地」

①ゼロカーボン遊園地



- ・公共交通を含め、脱炭素につながる移動手段への誘導
- ・ICT を活用した脱炭素体験
- ・環境イベント
- ・実証実験

相互に連携
交流人口の増加

淀川舟運の
観光魅力の充実
淀川の「かわまちづくり計画」

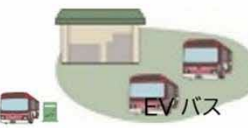
アウトドア空間
オンサイト PPA

枚方宿
くらわんか五六市

B. 施設群



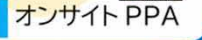
②京阪バス新営業所



③枚方自動車教習所



④公共施設群



オフサイト PPA



オフサイト PPA

フロート式太陽光
(招提新大池・今池)



フロート式太陽光
(最早池)



脱炭素の収益を活用した土地改良区・財産区の住民による「ため池」の適正管理

オフサイト PPA



フロート式太陽光
(惣喜池)



野立て太陽光発電設備
(最終処分場管理地)



自営線

C. 産業部門の事業施設

⑤京セラドキュメントソリューションズ(株)



EV バスでめぐる
「再エネ体験ツアー」
(NPO 法人ひらかた
環境ネットワーク会議)



＜対象地域の設定理由＞

「ひらかたパーク」は、あらゆる世代に脱炭素の取り組みを拡散することができ、全国の遊園地にも取り組みが拡大していくことが期待できる。

重点加速化事業
市環境基金の活用



太陽光・蓄電池、卒 FIT 電力の自家消費、面的な住宅開発時の太陽光設置・ZEH 普及

⑥先行地域外への波及効果

OSAKA ゼロカーボン・スマートシティ・ファウンデーションとの連携

- 事業者による脱炭素活動の可視化、技術等の普及拡大・企業間マッチング
- 金融機関と市内事業者とのマッチング、脱炭素普及啓発活動